

新型コロナウイルスの感染対策に関する特記事項

1. 本大会は、大会を主管する一般社団法人大阪府サッカー協会が制定した「OFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン（以下ガイドライン）」に準拠して行います。
 2. 感染拡大状況の変化等により、大会を延期中止する事があることをご理解下さい。
 3. 新型コロナウイルスの感染が収束していない中での大会ですので、全国大会進出チームを決定するためにノックアウト方式で開催します。
 4. 参加チーム・選手・審判団・運営役員、そして来場応援される関係者の皆さまには、日常生活からしっかりと感染予防を行って頂き、健康チェックシートを試合当日の2週間前から記録して頂くことを参加条件としております。
 5. 健康チェックシートについては、試合会場での回収はせず、チーム代表者より当日参加選手・スタッフ全員分の健康状態をメンバー提出用紙にて、個別チェックの上、代表者が署名することとします。
- 審判員・運営役員については、各ピッチの責任者が健康チェックシートを目視の上、確認を行います。
6. ガイドラインに定める健康状態について問題がある場合は、参加を拒否の上、会場から退出して頂きます。
 7. 症状が無くとも関係機関から、PCR検査の受診要請されている場合は、参加を認めない
 8. 本大会においては、代表者会議等は実施しません。各チームへの感染防止策を含めた競技・会場運営については、事前に各チーム代表者へメールにより周知しますので、チーム内への徹底をお願いします。

8. 競技会会場における感染防止対策

- ・事前に施設の担当者と打合せを行って準備を進める
 - ・諸室：当競技会では専用確保・設置無し
 - ・手洗い場所：施設の運用に準ずる
 - ・トイレ：施設の運用に準ずる
 - ・ロッカールーム：施設の運用に準ずる（当競技会では専用確保無し）
 - ・審判控室：当競技会での専用設置は無し。施設の供用ロッカーで対応
 - ・ベンチ：施設の常設ベンチを使用するが、各チームベンチの外側へ広がることは容認する
- 暑熱対策も適切に実施する
- 試合終了毎にベンチの消毒を行う

9. 来場者対応

各ピッチ内（競技エリア）には、各試合にエントリーされたスタッフ・選手、競技役員以外の入場は許可しません。

ピッチ周辺での観戦については、感染対策を各自で徹底して頂くよう促します。

10. チームへの伝達事項と遵守頂く内容

以下の項目を事前に参加チームに周知すると共に、当日、チーム代表者に対して再徹底する

- ・前の試合が終了次第、本部席後方の入口から入場し、試合終了後は、ベンチ外側の出口から退出する
- ・用具チェックを受けた選手から、ピッチに入りキックオフへの準備を行う
- ・試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- ・両チームベンチへの挨拶を実施しない
- ・円陣はしない
- ・倒れた選手に手を貸さない
- ・担架が必要な状況では、チームの方にサポートをお願いします

- ・得点時にハイタッチ、抱擁を行わない
- ・ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない
- ・口に含んだ水を吐かない
- ・ボトルを共有しない
- ・水・氷を溜めたクーラーボックスを共有しない。
- ・タオルを共有しない
- ・ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
- ・ベンチでは必要に応じてマスクを着用し、会話を控える
- ・ベンチでのビブスの着用義務については、異色のウェア着用も可とする
- ・飲水タイム・クーリングブレイクなどを柔軟に設定し、水分補給を行いやすい環境を設定する
原則として、飲水タイムを適用する
- ・熱中症に対するケアを徹底する

11. ゴミの廃棄方法

ゴミを収集する際は、マスクや手袋を必ず着用の上、対応する。ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、廃棄する。マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒してください。

各チームは試合収後に、必ずごみを持ち帰ってください。

12. 事後対応

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、競技会当日に参加選手・スタッフ、運営関係者には、健康管理表を、保存期間（少なくとも1ヶ月）を明記した上で保存しておくように通知徹底します。

競技会終了後3日以内に、各チームの感染対策責任者は、自チーム関係者に、具合の悪い選手・スタッフがいなか確認してください。

万が一、チーム内から競技会終了後14日以内に感染者発生が報告があった場合には、速やかに大阪府FAシニア委員会宛にご報告ください。 info2021@ofa-senior.jp